

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社
平成 30 年度第 2 回評議員会会議録

1. 開催日時 平成 30 年 6 月 29 日（金）午前 10 時から午前 11 時 20 分まで
2. 会 場 サンパル 5 階 当公社会議室
3. 評議員現在数及び定足数並びに出席評議員数及びその氏名
評議員現在数 5 名 定足数 3 名
出席評議員数 5 名
出席した評議員の氏名 石丸 鐵太郎、梶木 典子、加登 豊、
安田 義秀、岩橋 哲哉
4. 監事現在数並びに出席監事数及びその氏名
監事現在数 2 名
出席監事数 2 名
出席した監事の氏名 岩崎 和文、梁 英子
5. 出席理事の役職及び氏名
理事長 鳥居 聡、専務理事 澤田 靖、常務理事 福田 孝夫
理事 谷口 貴成
6. 議長兼議事録作成者の氏名
加登 豊
7. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 定足数の確認
 - (2) 議長の選出
 - (3) 決議事項 理事 1 1 名の選任について
 - (4) 報告事項
 - ①平成 29 年度事業報告及び決算について
意見については別紙 1 のとおりである。
 - ②公益目的支出計画実施報告書について
 - (5) その他
その他の意見については別紙 2 のとおりである。
 - (6) 閉 会
以上をもって議案の審議等を終了したので、午前 11 時 20 分に議長は閉会を宣し、解散した。

報告事項①に対する意見

＜財務関係＞

評議員：

長期借入金の支払利息はバカにできない。低金利時代が長期間続いているが、何時、何が起こるか分からない。戦略的に上手な借り方をしてほしい。

学校建設など大きな資金が動くこともあり、公社は財務諸表の年度間比較が困難な組織。多額の資金の動きは全体の財務諸表に影響を与えるので、評議員には一層わかりやすい説明をしてほしい。

＜すまいるネットの体制＞

評議員：

大阪北部地震においてブロック塀が問題視されたが、市民からの問い合わせに、すまいるネットで迅速に対応いただいている。市民の相談窓口をすまいるネットに一元化しているなか、災害時には市本体は危険度判定などで忙殺しており、かなりの相談が押し寄せることもある。準備や心構えをお願いしたい。

＜六甲有馬ロープウェイの活用＞

評議員：

ロープウェイ・ケーブル事業について、今年度はまやビューラインで無料運行バスを運行されるようであるが、どうしても六甲有馬ロープウェイがかすんでいる。神戸の大切な資産であり、もう少し活用に力をいれてほしい。

＜ゴルフ場経営について＞

評議員：

ゴルフ場も名門が多くあるが、閉鎖的な組織である。三木市は個別の利害を超えて、ゴルフ場同士が組んで来場者数を増やす取り組みを行っている。

ゴルフ場は自ら経営するよりは、公的なゴルフ場の管理運営を受けて運用するほうが収益が上がる。公社としても、外部業者に牽制ができるような、例えばインセンティブ契約などの仕掛けを考えてほしい。

＜すまいるネットの知名度アップ＞

評議員：

空き家対策は大きな問題。今後は防災の観点から空き家についても力を入れていただき、神戸が安心してくらせることをアピールしてほしい。また、「すまい学習」のような子供向けの啓発事業を進め、幼いころから安全意識を高め、人が住むことの魅力をアピールしてはどうか。

＜すまい体験ツールについて＞

評議員：

すまいは体験ができない。バリアフリーなど高齢者にでもイメージしやすい体験できるツール（施設等）があってもよい。借入金の利息も圧縮できたということなので、啓発活動にも余剰金を使ってほしい。

その他意見

<観光対策>

評議員：

神戸はインバウンドのプラス要因が一番少ない都市。市の観光部門も手の打ちようが不十分なところがある。都市の評価が高まると恒久的に外国の方が来てくれる。市はなかなか動かないので、いろいろな方に意見を聞いて、出来るものはすぐに取り組んでほしい。

<業務全般>

評議員：

キーワードはプロアクティブに動く。公社の定款の範囲内での事業は積極的に取り組んでほしい。投資なので少くく失敗しても問題はない。いくつか実施して、あたりを見つけるなど前向きに仕事をしてほしい。

4～5年前の職員は楽しくなさそうに仕事をしていた。今は、職員の表情もすごく良くなってきている。良くなっているので働いている方は不満もあると思うが、さらに、やりがいのある職場にしてほしい。